

飛躍する 年の幕開け

◆第7回宝の都(くに)
・活性化貢献賞贈呈式
◆新春講演会
◆新年祝賀会

1月5日、芙蓉閣を会場に「第7回宝の都(くに)・活性化貢献賞贈呈式並びに新春講演会」と「新年祝賀会」が開催されました。

はじめに、「宝の都(くに)・活性化貢献賞」の贈呈式が行われ、市民活動の一層の普及と、創意と工夫による個性ある地域活動の促進に先導的な役割を果たした5つ

の団体を顕彰しました。また、昨年11月27日、「語り合おう夢大崎市の未来」をテーマに開催された「おおさき子どもサミット」で発表した内容を、古川第五小学校と松山小学校の児童の皆さんが披露してくれました。地域や学校が抱える課題や良いところを分析し、笑顔やあいさつで地域をつなぎ盛

り上げていくことなど、自分たちの住む地域をしつかりと見渡し、みんなで議論を重ね導き出した、すばらしい発表でした。

新春講演会は、鳴子温泉地域出身で、独立行政法人産業技術総合研究所理事長の中鉢良治氏(元ソニー株式会社取締役代表執行役副会長・おおさき宝大使)をお招

きし、「大崎・魂と風土」と題した故郷への愛情を感じさせる熱い講話をいただき、300人を超える聴衆を力強く鼓舞してくれました。新年祝賀会には、おおさき宝大使の皆さんをはじめ、市内外から約500人の皆さんが参加し、初春を祝い、平成27年にかかる夢や希望を大いに語り合いました。



▲それぞれの分野での活躍が光った、宝の都(くに) 活性化貢献賞受賞団体の皆さん

団体名	活動概要
三本木まちづくり協議会	広報紙発行やホームページ開設で、三本木地域の情報の発信と共有を推進
フランク永井歌コンクール実行委員会	郷土が生んだ昭和歌謡の帝王フランク永井を顕彰するとともに松山地域を広く発信
田尻ほなみ委員会	地域の身近な課題解決に向けた事業展開、地区公民館指定管理者として施設利用者を順調に増やすなど、地域活性化に貢献
すばらしい岩出山地域を創る協議会	国道47号沿いの歩道や植樹帯に長きにわたり花きの植樹活動を行い、環境美化を推進
宮城県社交飲食業生活衛生同業組合古川支部	古川まつりへの参画や社会福祉、交通安全、暴力団追放などの活動を積極的に推進



▲大崎市の未来に向け、夢や希望を発表してくれた古川第五小学校6学年の皆さん(写真上段左から小松康平さん、稲本あかりさん、下段左から久次康輝さん、村上陽夏さん)と松山小学校6学年の皆さん(写真右上段菅原響希さん、下段漢人まほさん)

▲「大崎・魂と風土」と題し、地元なまりのユーモアをまじえながら、人口減少社会が進む中、地方が取り組むべきことなどを熱く語った中鉢良治氏



◀▲鏡開きで始まった新年祝賀会。おおさき宝大使をはじめ、約500人の皆さんが参加し、今年にかかる夢や希望を語り合った

ふるさと納税

ありがとうございました

ふるさと納税制度は、自分が生まれ育った「ふるさと」に貢献したい、自分との関わりが深い地域を応援したいといった気持ちを形にする制度です。

平成26年においては、全国の皆さんから、総額1251万5330円に上る多額の寄附をいただきました。

あらかじめ設けた事業(使途)メニューに基づいて、寄附をいただきますの

で、寄附をいただいた皆さんの意向に沿って、小中学校などの教育環境の整備や市内の被災者支援などに活用するなど、その期待に応えられるよう、まちづくりを進めていきます。

平成26年に寄附をいただいた皆さんの紹介しします。氏名の公表については了承をいただいた人のみの紹介となります。

政策課政策企画担当
☎2129

ふるさと納税で寄附をいただいた皆さん(敬称略)

氏名	住所	寄附金額	使途
高橋 浩太郎	鳥取県日南町	60,000 円	①
大場 秀一	埼玉県朝霞市	50,000 円	⑤
太田 稔郎	宮城県名取市	50,000 円	①
大和田 順子	東京都世田谷区	10,000 円	④
葛西 寛信	千葉県市原市	10,000 円	③
石森 進	東京都三鷹市	1,000,000 円	⑥
田村 政彦	静岡県三島市	10,000 円	④
木村 梅子	埼玉県草加市	50,000 円	④
木村 康之	埼玉県草加市	50,000 円	⑥
小松 好章	神奈川県厚木市	10,000 円	②
千田 豊治	東京都大田区	5,000,000 円	①
岡崎 岩男	東京都板橋区	100,000 円	⑥
鈴木 末廣	埼玉県東松山市	20,000 円	⑤
男沢 隆雄	茨城県稲敷郡	100,000 円	①
植田 雅俊	千葉県浦安市	100,000 円	①
高橋 弘郎	宮城県仙台市	10,000 円	③
高橋 俊裕	愛知県名古屋市	300,000 円	⑤

事業(使途)メニュー

- ① 明日の大崎市を担う人材育成のための事業
- ② おじいちゃん、おばあちゃんが安心して暮らすための事業
- ③ 活力ある大崎市をつくるための事業
- ④ 大崎市の宝を次世代に継承するための事業
- ⑤ ふるさと大崎市応援のための事業
- ⑥ その他の使途指定

市長コラム 天・地・人

吉田松陰 東北を巡る

『夢なき者に
成功なし』

この言葉は、今年の成人式で、私から新成人へのはなむけの言葉として贈った、幕末の偉人吉田松陰の名言の一節です。

今年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」は、松陰の妹・文が主人公ですが、それに増して松陰がクローズアップされる年になりそうです。

松陰は、長州藩の藩士で松下村塾を主宰し、高杉晋作や伊藤博文など維新の有為な人材を育んだ不世出の思想家、指導者ですが、「安政の大獄」によって刑場の露となり、30歳の若さで世を去りました。

あの時代に松陰が誕生しなかったら、松下村塾を開かなかつたら、日本の明治維新は実現しただろうか！カリスマ性と神秘性を持った松陰を題材にした作



品がたくさん描かれております。司馬遼太郎や山岡荘八の小説、そして映画やテレビドラマ、漫画のほか、イギリスの文豪ステイブンソンによって松陰の伝記が、海外でも紹介されております。

松陰は、163年前の冬、東北を訪れております。西洋列強の脅威が確かに日本周辺に迫り、北方の警備状況を視察するべく、脱藩してまで140日間東北を遊学(びょうがく)し、遠く土地へ勉強しに行くことしました。

日本海側から津軽半島を巡り、その帰路には、宮城県各地の名所旧跡も訪れ、その道中を記した「東北遊日記」には、松陰が見た東北が詳述されております。

内憂外患、自治体消滅の危機に直面している今日、松陰が創ろうとした日本のすがた・かたちに夢を馳せてみませんか。

大崎市長 伊藤 康志